



三寶寺寺報 第一九四号
 二〇〇五年十月一日発行
 発行人 目崎 薫(三寶寺住職)
 伊勢原市沼目三 十一 二一
 TEL 0463 93 3236
 FAX 0463 93 5452
 購読料 加金 年三〇〇〇円(年・送料込)
 郵便振替口座 一〇二〇〇六一〇五八三二

念仏申す生活を

真宗門徒の生活実践

毎朝ご本尊に礼拝し、一日を始めよう。(礼拝の生活)

あなたは、今日一日を何からスタートさせますか。真宗門徒の一日は、ご本尊に對面することから始まります。ご本尊を家庭の中心に、明るく力強い人生を歩みましょう。

念仏の教えを聞き、同朋(とも)を見いだそう。(聞法(きんぽう)の生活)

あなたは、悩みをうちあけるところがありますか。心から相談できる友人を見つかることで、人生はもっと豊かなものになります。月に一度は法座に参加しましょう。

迷信に惑わされず、確かな人生を歩もう。(正信(しんしん)の生活)

あなたは、ふと寂しさや不安を感じたりしませんか。念仏申す生活は、「生まれた意義と生きる喜び」を見いだす生活。私の弟子として正しい信心に生きてゆきましょう。

2005年 親鸞聖人 報恩講 11月12日(土)
 三寶寺 チャリティーバザー開催

涅槃経

「慚愧なければ畜生と名づく、慚愧あるが故に人となす」

慚は転に恥じ、愧は人に恥ず。

「自分はほんとうに申し訳のないものだ」

とあやまるのが「慚」であり、世間の人の様子に照らして自分の過誤を知って

「こんなことでは皆様に済まない」とあやまるのが

「愧」である。

親鸞聖人に対する報恩講は、浄土真宗にとって一番大切な行事。一般(お取越)報はむくいる。いただいた御恩を還すところなり。

ご家庭でもお取越(報恩講)をおこないましょう。住職がご家庭にうかがいます。

慚愧

宇宙からみた地球よ

薄く空気で覆いつながら

寿命を生み出す

闘つを示す国境は

宇宙からみえぬ

地上からみた地球よ

木々は空気をつくうぬ

自然破壊があるから

再生を示す団結こそ

人類をすくう

ハルモ

三寶寺掲示板 十月
 煩惱は 人を苦しめ
 悩ますために
 生じるのではない